

**【JST 女子中高生の理系進路選択支援プログラム】**  
**「香川大学ダイバーシティ&サイエンス 理系選択応援プロジェクト」**  
**香川大学&ブルネイ・ダムサラーム大学**  
**“グローバル×サイエンス” 教員向け研修会実施報告**

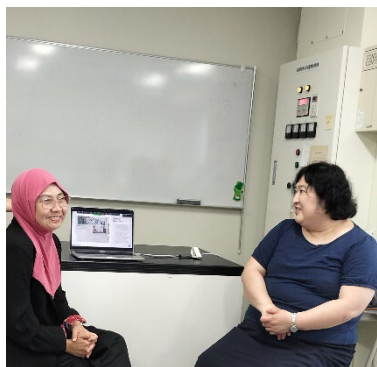
**日 時:**2023年7月8日(土) 9:45~11:15  
**会 場:**香川大学教育学部8号館 3F 調理学実習室  
**講 師:**Nik Ani Afiqah binti Hj Mohamad Tuah  
(ブルネイ・ダルサラーム大学シニア講師、生涯学習センター副センター長)  
Dk Ratna Suriani Pg Haji Osman  
(ブルネイ・ダルサラーム大学講師、SHB 教育研究所)  
高木由美子 (香川大学教育学部教授、副学部長)  
**参加者数:**教員3名、大学生8名 (うちオンライン参加者3名)

香川大学ダイバーシティ&サイエンス理系選択応援プロジェクトの教員向け研修会として、ブルネイ・ダルサラーム大学教員を招聘し、“グローバル×サイエンス”をテーマに開催しました。

第1部では、香川県内の理科教育をリードする本学教育学部の高木先生がロールモデルとして登壇し、ブルネイ・ダルサラーム大学のNik氏から、ブルネイの教育事情について、ブルネイとオンラインでつなぎ、レクチャーが行われました。その後の女子学生の理系選択に関する質疑応答では、活発なやりとりがありました。

第2部では、ブルネイ伝統料理（アンブヤット）のワークショップ（調理実習）を行い、科学の知識を取り入れたブレンディドラーニングの手法を用いて、科学と料理の関連性を学びました。

アンケートには、「とてもユニークな取組で楽しく学ぶことができた」「ブルネイでは教育機関で特に女性が活躍していることがわかり、日本でどのようにしたら女子学生の進路選択ができるのかを考えるきっかけとなった」といった声が寄せられました。



Nik氏 (左) と高木氏 (右)



ワークショップの様子 (Ratna氏 (後)、Nik氏 (前))